

---

# タイムリミット

大巻 雅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

タイムリミット

### 【Zコード】

Z6621C

### 【作者名】

大巻 雅

### 【あらすじ】

14歳の時に本気の恋愛をした。それからあたしはドンドン純粹  
な恋愛が出来なくなりドンドンワガママな恋愛をするようになつて  
いる自分が嫌い本当は人をまっすぐ愛せないでもあたしには出来な  
い

## プロローグ

誰だって気付くのが遅すぎたコトあるよね。

あたしはいつもそつなるタイプ。

特に恋愛でね。

いつも相手を傷つけて、自分も傷つけて… そんな恋愛しか出来ない  
し…

そしていつも最低だつて自分を追い詰める…

だったら恋愛なんかしなきゃいいのに、あたしは恋愛をしてないと  
空っぽのぬいぐるみになる…

一人ぼっちでいたいのに一人は寂しいから嫌だ

ワガママなあたし

本当にウンザリする

あたしが一番好きな場所  
自分たちのマンションの屋上

都内だけまだ少し自然が多くて高いマンションが少ないこの町があたしは大好きだ

「怜衣」

誰かがあたしの名前を呼んだ

「勝<sup>マサル</sup>か」

勝はあたしの横に座つてタバコに火を着ける

勝もあたしも14歳の中2。

関係は幼なじみ。

この辺りにしては大きいこのマンションに昔から住んでるタメ数人はみんな幼なじみだ。

「なあ怜衣オマエ今男いるの?」

急な質問。

「いなによ

半年前に別れたタメの男とは付き合ひつてどうしてかわからなかつた。

だから別れた。

あたしはタバコに火を着けて続けた

「そいや勝今まで彼女いないよね? どしたん? 好きな女でも出来た?」

クスクス笑いながら勝の横に寝転びからかつた。

「そりや俺だつて人好きになつたりするぞ」  
意外にも真面目な答え。

「へえ~」

その時寝転んであたしより大きな影に包まれた。

その直後温かい感触を唇に感じた。

それがあたしのファーストキスだつた。あまりに突然のコトにびつくりし、言葉を失つあたし。

「付き合つちやおつか?」

勝の提案にあたしは頷いた。

何も考えずに。

だって頭がぼーとして…

頷いた瞬間あたしは勝に抱き締められた

とても温かくて心地よかつた

そういうえばさっきまで吸っていたタバコが指先から消えていた…ド  
コイツタンダロ…

これが恋なんだと初めて思った。

小学生の頃にカツ「トイイと人気のあつた子を好きだと恋ひのは訳が違つ。

大きな幸福感と心地よこドキドキ感

あのあと逃げるかのように家に帰つて来ただがずつとドキドキしていく。

セレヒで携帯がなつた

勝

「もしもし」

勝からの電話をこんなに緊張したのは多分初めてだ

「もしもし?俺。あんせー」

「ん?」

「夢ぢやないよな?」

「えつ?」

「オマナとキスしたのも付き合つて頷いたのも夢ぢやないよな?」

「いや違うと言つたじゃんの?なかつたコト?なんでもそんなコトこのの?」

あたしは…あたしは…

「夢ぢやないよ。嬉しかつた」

本当はもっと溢れる位に好きなのに、素直になれなくて…

素直になる方法がわからなくて…

そつけない自分…

「そつか。ありがとう。今日夜会える?」

「うん…」

「じゃ用事終わったら迎えに行くよ。またな」

夜なんて言わないで…

今会いたい…

ああそつか…

人を好きになるってこんな気持ちなんだ。

不思議だな。

昨日まで単なる幼なじみだったのに…

今思えばあたしはこの時愛されるというコトに舞い上がっていた気がする。

でもあたしは一瞬で勝が好きになっていた。

キスしたい…

キスしたい…

キスしたい…

「こんな気持ち初めてだ。」

早く会いたいよ…

勝から連絡が来たのは三時間後だった。

「今屋上にいる」

あたしは急いで屋上へ向かった。

「勝ツ」

付き合いつ前となんら変わらない姿でタバコを吸つ勝。

「おいで」

今まで離れて座つてバカな話してたのに数時間前からは膝の上が  
あたしの席になつた。

膝に座ると勝がタバコを消しキスして來た。

幸せつていうつづくなんだな…



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6621c/>

---

タイムリミット

2010年10月28日08時05分発行